

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

| | | | |
|-----------|------|-----------|------|
| (H.26)No. | 1156 | (H.25)No. | 1156 |
|-----------|------|-----------|------|

| | | | |
|----------|-----------------|-------|--|
| 事務事業名 | 中学校教育振興費(学務管理室) | | |
| 担当部局名 | 担当室名 | 室長名 | |
| 教育委員会事務局 | 学務管理室 | 中谷 恒雄 | |

| | | |
|---------|---------------|--------|
| 会計区分 | 事業コード | 481001 |
| 一般会計 | (中事業名)※予算書事業名 | |
| 款 教育費 | 中学校教育振興費 | |
| 項 中学校費 | (小事業名) | |
| 目 教育振興費 | 中学校教育振興費 | |

1. 事務事業の位置付け

| | | | |
|---------|------|---|-------------------------|
| 総合計画 | 政策 | 4 | 心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし |
| | 基本政策 | 1 | 生きる力をはぐむ教育の充実 |
| | 施策 | 1 | 学校教育 |
| | 小施策 | 2 | 義務教育 |
| 重点施策コード | | | |

2. 事務事業の概要

| | | |
|--|--|--|
| 事業目的(めざす効果) | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 理科・数学に関する教育環境の整備 体育・文化部活動の振興と充実 長瀬地区等から名張中学校に通学する生徒の通学手段及び安全の確保 | | |
| 事業内容 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 国の補助金を活用し、理科、数学の教育を実施する設備を整備します。 中学校体育連盟等主催の体育大会及び中学校文化大会へ参加する生徒の必要旅費等を支給します。 三重県・伊賀地区・名張市の中学校体育連盟に対し、負担金を交付します。 名張中学校から長瀬・滝之原地区への帰宅手段として、必要なバス臨時便を運行します。 | | |

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

| | H.25年度(事業量・取組実績) | H.26年度(事業量・取組計画) | H.27年度(事業計画) | H.28年度(事業計画) | H.29年度(事業計画) |
|------------|--|--|--|--|--|
| 主な事業の実績・計画 | <H.24繰越分> (理科・数学教材備品)中学校1校 375千円 <H.25現年分> (体育・文化クラブ報償)体育5,214千円、文化825千円 (その他報償)卒業証書丸筒87千円 (中学校体育連盟等負担金)2,083名分:1,667千円、三重県中学校総合体育大会開催地負担金 119千円 (長瀬・滝之原地区臨時バス運行委託)184便運行(年間)1,023千円 | (理科・数学教材備品)中学校5校 1,215千円 (体育・文化クラブ報償)体育5,190千円、文化817千円 (その他報償)卒業証書丸筒106千円 (中学校体育連盟等負担金)1,920千円 (長瀬・滝之原地区臨時バス運行委託)2,037千円 | 理科・数学教材備品(4校)、体育・文化クラブ報償及び負担金、長瀬・滝之原地区臨時バス運行委託 | 理科・数学教材備品(4校)、体育・文化クラブ報償及び負担金、長瀬・滝之原地区臨時バス運行委託 | 理科・数学教材備品(4校)、体育・文化クラブ報償及び負担金、長瀬・滝之原地区臨時バス運行委託 |

| | H.25年度(決算見込) | H.26年度(作成時予算額) | H.27年度(計画予算) | H.28年度(計画予算) | H.29年度(計画予算) |
|---------|------------------|----------------|--------------|--------------|--------------|
| ①直接事業費 | (360千円) 8,933千円 | 11,285千円 | 11,300千円 | 11,300千円 | 11,300千円 |
| 内訳(千円) | | | | | |
| 国・県支出金 | (180) | 600 | 1,100 | 1,100 | 1,100 |
| 地方債 | | | | | |
| その他() | | | | | |
| 一般財源 | (180) 8,933 | 10,685 | 10,200 | 10,200 | 10,200 |
| 人工数 | | | | | |
| 職員 | 0.21人 | 0.21人 | 0.21人 | 0.21人 | 0.21人 |
| 臨時職員等 | 0.02人 | 0.02人 | 0.02人 | 0.02人 | 0.02人 |
| ②概算人件費 | (0千円) 1,630千円 | 1,630千円 | 1,630千円 | 1,630千円 | 1,630千円 |
| ①+②総事業費 | (360千円) 10,563千円 | 12,915千円 | 12,930千円 | 12,930千円 | 12,930千円 |

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

| | |
|--|--|
| 考察(H.25年度の取組評価、課題) | 今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容) |
| 理科・数学教材備品については、国庫補助金を活用し整備を進めていますが、依然として国の充足率を満たしておらず、引き続き整備を進める必要があります。臨時バス運行及びクラブ活動支援については、当初計画通り事業を進めました。 | 理科・数学教材備品については、優先度や必要性の高い設備備品を中心に年次的に整備を進めます。クラブ活動支援については、支援を継続し、部活動の振興と充実を図っていきます。また、スクールバス等代替手段の導入が困難な中、生徒の教育面、生活安全面等への影響を可能な限り少なくするため、引き続き臨時バスの運行を行います。 |

| 点検項目 | 内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容) |
|--|--|
| (1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献) | 設備備品や通学手段など、生徒の教育環境を整備することで、より円滑な学校教育の実施を図ることができました。 |
| (2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない | |

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

| | |
|---|----------------------|
| 【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む) | 継続(拡大) |
| 具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由 | 6. 事務事業の取組に関する主な市の計画 |
| 円滑な学習指導のため、今後も年次計画的に各学校の備品の整備を進める必要があり、国の整備基準をもとに、理科・数学の設備をより充実させていきます。 | |